

平成28年度 湖北広域行政事務センター議会議員研修

研修の概要

- 実施日 平成28年10月31日(月)
- 研修先 一宮市環境センター、一宮斎場
愛知県一宮市奥町字六丁山52番地ほか
エコハウス138
愛知県一宮市奥町字八瀬割40番地1
- 参加人数 25人(センター議員11人、監査委員1人、構成市職員2人、センター職員11人)
- 研修目的 現在、センターでは、ごみ・し尿処理施設、斎場の運営を行っていますが、平成41年度を目途にすべての施設の一極集中での整備計画を進めています。各施設ともに住民生活に直結していること、また全ての施設の更新には多額の事業費が必要となることから、将来にわたる長期的な施設運営を見据え、利便性と効率性を確保していくために、議会の立場で様々な検討をしていく必要があります。
こうしたことから、実際にごみ・し尿処理施設と斎場を隣接して運営管理を行われている施設を実際に見学することで今後の検討の参考とするため、今回の研修を実施いたしました。
今回研修先とした一宮市は、昭和30年代から現在の用地にごみ処理施設や斎場を有し、各施設の更新や増設を経て、センターの計画と同様の集約施設として設置運営を行っております。
 - ・一宮市環境センター(可燃ごみ処理施設) 平成10年完成
 - ・一宮市リサイクルセンター(不燃・粗大・資源ごみ処理施設) 平成24年完成
 - ・一宮市衛生処理場(し尿処理施設) 平成8年増設
 - ・一宮斎場 平成23年完成

研修内容

13:00 クリスタルプラザ出発

14:00 一宮市環境センター到着

研修開始

一宮市環境センターの職員の方から各施設の建設経過や施設概要について説明を受ける。その後、質疑応答が行われ、将来的な施設建替え用地の考え方について、また、これまでの施設建設、建替えに係る周辺地域への対応状況について説明を受けた。

施設見学

環境センター(可燃ごみ処理施設)では各処理工程の説明を受け、焼却熱エネルギーを、隣接のリサイクルセンター、衛生処理場、斎場の各施設での稼働電力、その他温水プールを含む隣接施設「エコハウス138」や市営の温浴施設での稼働電力や熱源に利活用しているとの説明を受けた。

また、斎場では、待合ロビーからお別れ室、収骨室、炉室等を見学したが、会葬者どうしが重複しない動線が確保されていること、また、外観については、隣接の環境センターとの間に樹木による緩衝帯を設け、視覚的な配慮がなされていることの説明を受けた。

15:50 一宮市環境センター出発

15:55 エコハウス138到着

施設見学

施設内の温水プールとトレーニングルーム等を見学、環境センターからの熱エネルギーにより運営がされているほか、太陽光や風力発電設備を有し、環境学習の拠点施設として、また運動施設として多くの利用者があることの説明を受けた。

16:20 エコハウス138出発

17:20 クリスタルプラザ 到着

◆研修の様子
(一宮環境センター)



(一宮斎場)



(エコハウス138)

